

	大阪大学 保健系分野 (薬学)
学部・研究科名	薬学部 (薬科学科 (4年制) : 55名、薬学科 (6年制) : 25名) 薬学研究科 (M : 75名、D3 : 20名、D4 : 10名)
沿革・設置目的	<p>薬学に関する教育・研究を行うことを目的として、大阪大学医学部薬学科を経て、昭和30年に大阪大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24年 (1949年) 新制大阪大学設置 昭和24年 (1949年) 大阪大学医学部薬学科設置 昭和28年 (1953年) 大阪大学大学院薬学研究科設置 昭和30年 (1955年) 大阪大学薬学部設置 平成16年 (2004年) 国立大学法人に移行 平成18年 (2006年) 薬学科 (6年制) 薬科学科 (4年制) を設置 平成24年 (2012年) 薬学研究科 (D4) を設置</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 大阪大学の理念等に基づき、創薬研究から治験、投薬に至るまで幅広い見識を持ち、医療の現場はもとより臨床薬学研究や医薬保健行政、品質保証・薬事を含めた医薬品開発の入口から出口において、国際的舞台上で先導的に活躍できる、「創薬臨床力」に優れた人材を育成するとともに、「創薬基盤技術力」を磨き上げ、ライフサイエンスの最先端でグローバルに活躍でき、次世代の「ものづくり (創薬)」を担う創薬基礎研究者を育成する。</p> <p>○ 医療統計学やレギュラトリーサイエンス、薬事戦略、トランスレーショナルリサーチに関する講義や実習を通じて「創薬臨床力」を高め、世界をリードする先導的医療人を輩出するとともに、画期的医薬品の創成を目指し、創薬ターゲットの探索、その有効性と安全性の確保といった創薬基礎研究力に加え、これらを支える「創薬基盤技術力」を高め、国際的競争力を持ったリーダーを輩出する。</p> <p>○ 環境科学、医療機器を含めた創薬・健康医療に係る基礎研究からトランスレーショナルリサーチ、レギュラトリーサイエンスに関する取組を総合的に推進し、産学官連携や他の研究機関・研究分野等との連携した研究をグローバルに推進することにより、世界的な拠点として我が国発の革新的な医薬品の創出や、医療・生命科学等の発展に貢献する。</p>